

令和5年度 箏×尺八 合わせて奏でる和楽器基礎実技講座 実施要項

- 1 ね ら い 我が国の伝統的な楽器の基礎奏法を学び、和楽器アンサンブルを通して和楽器の効果的な指導方法を考える。
- 2 指標との対応 ステージ1 初任期（1年～6年） 観点：学習指導
- 3 受講対象 教諭（小・義前・特支）、音楽科担当教諭（中・義後・特支）、芸術科音楽担当教諭（高・特支）
- 4 定 員 25名
- 5 日 時 令和5年8月24日（木） 13：30～17：00
- 6 会 場 京都府総合教育センター北部研修所
- 7 日 程



時 間	講義題等		講 師
13：30～14：00	講 義	伝統音楽の指導におけるICT活用	京都府総合教育センター 研究主事兼指導主事 浅井 ちとせ
14：00～17：00	実 習Ⅰ	箏と尺八を奏でよう	箏演奏家 立道 明美 尺八演奏家 塚本 芽山
	実 習Ⅱ	箏と尺八を合わせて奏でよう	箏演奏家 立道 明美 尺八演奏家 塚本 芽山

8 そ の 他

- (1) 感染症拡大防止の対策をとりながら実施しますので御協力ください。また、発熱などの症状がある場合や体調が悪い場合は、来所を控えてください。
- (2) 実習Ⅰ、Ⅱは箏と尺八のいずれかを選択して受講していただきます。希望調査のためのアンケートを学校代表メールアドレス宛に電子メールにて送付しますので御回答ください。

(3) 携行品

- ①音楽教科書（小学校の受講者は第5学年、中学校、高等学校及び特別支援学校の受講者は自校で使用するもの）
- ②箏の選択者に対して箏の爪を貸与します。サイズが合わないこともありますので、なるべく爪を持参してください。

9 担 当 部 地域教育支援部（0773-43-2934）